

請願第 60号

平成25年 3月13日

川崎市議会議長 大島 明 様

中原区在住者

ほか 5名

等々力緑地の再編に伴い廃止される等々力プールの速やかな代替
措置に関する請願

請願の趣旨

等々力緑地の再編整備の中で廃止されるプールについて、利用実態、市民ニーズを踏まえた上で、速やかな代替措置をお願いいたします。

請願の理由

等々力プールは、50mプール、児童用プール、幼児用プールの3種類があり、7月から8月の夏季期間に開設されている、市内公共屋外プールの中で群を抜いて利用者数の多いプールです。施設は老朽化しているにもかかわらず、利用者数は2か月で約5万人と市内公園プール利用者の三分の一を超えています。

昭和43年のオープン以来、中原区のみならず多くの市民が、家族や友人などと利用した、思い出がいっぱい詰まったプールです。

そのプールについて、等々力緑地再編整備の中で、施設利用期間が2か月弱と短いこと、施設の周囲がフェンスで囲まれ利用していない期間は敷地の有効活用が図られていないこと、施設が老朽化していること、児童の利用が主となっていることなどから、じゃぶじゃぶ池など親水施設へ変更すること、大規模施設への複合化や公園区域拡大に合わせた整備の可能性などについて検討していくことが示されました。

等々力プールの廃止を突然知り、計画の撤回を願ってきましたが、等々力緑

地の再編整備はプール廃止ありきで日々進められています。

等々力プールは、家族で気軽に利用できる団らんの場、家族の成長を感じる場であり、友人と泳ぎを楽しむことのできるコミュニティの場、泳ぎを練習するスポーツの場、健康増進の場でもあります。

このように等々力プールは様々な機能と役割を持っています。老朽化しているにもかかわらずこれだけの利用者がいることを考えれば、リニューアルすれば、更に多くの人に利用される施設になるはずです。

プールについて私たち市民の考え・意見を聴いてください。等々力プールの詳細な利用実態、プールに対する市民ニーズを十分に調べていただくことを要望します。

また、スポーツのまち・かわさきとして、プール機能を存続していただくことを要望します。

市を代表するスポーツの拠点である等々力緑地内に、緑地再編整備の中で廃止するプールの速やかな代替措置をお願いします。

紹介議員

松 原 成 文
吉 岡 俊 祐
東 正 則
市 古 映 美
松 川 正二郎
猪 股 美 恵
三 宅 隆 介